

登録コード	E4641900	開講年度	2026				
授業科目	中等音楽科指導法演習					担当教員	桐原 礼
英文授業名	Seminar in Music Teaching Methods in J.H.S.					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・3時限	対象学生	
講義室	教育N 4 0 4			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	中等音楽科の指導法を中心とした理論および諸活動について理解することができる。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	音楽科授業に関連した理論および指導法について、知識および技能を習得することができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	音楽科授業に関わる理論および諸活動について、講義形式と実践を組み合わせながら授業を進める。 また、各授業の中で模擬授業および個別のレポート発表を実施する。						
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス、グループ決め 第 2 回：日本の音楽教育の歴史 第 3 回：海外音楽教育事情 第 4 回：日本の音楽・世界の音楽①（指導法・教材） 第 5 回：日本の音楽・世界の音楽②（実践例） 第 6 回：音楽科教育の今日的課題①（教科等横断的な学習ほか） 第 7 回：音楽科教育の今日的課題②（ICTの取り扱いほか） 第 8 回：特色ある音楽教育法①（ダルクローズ） 第 9 回：特色ある音楽教育法②（コダーイ） 第10回：特色ある音楽教育法③（オルフ） 第11回：特色ある音楽教育法④（創造的音楽学習） 第12回：特色ある音楽教育法⑤（サウンド・エデュケーション） 第13回：特色ある音楽教育法⑥（スズキ・メソッド） 第14回：中等音楽科指導法のまとめ、授業アンケート ※教育実習で欠席した学生がいる場合は、個別に課題を提示し、提出を求める。 ※オンライン授業（同期型・非同期型）の教育的効果が見込まれる内容については、オンラインで実施する場合がある。						
(6)成績評価の方法	特色ある音楽教育法に関するプレゼン30%（Ⅰ）、毎回のミニレポートの評価が20%（Ⅱ）、授業の参加状況を20%（Ⅲ）とし評価する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	（４）のⅠ、Ⅲの知識およびⅡの表現力に関する評価が極めて高くかつⅣが極めて高い評価だった場合は「卓越している」、Ⅰ、Ⅲの知識およびⅡの表現力に関する評価が高くかつⅣが高い評価であった場合は「かなり上にある」、Ⅰ、Ⅲの知識およびⅡの表現力に関する評価が一定水準以上かつⅣの評価が標準的であった場合は「やや上にある、Ⅰ、Ⅲの知識およびⅡの表現力に関する評価が水準にありかつⅣについて標準的であった場合には「標準にある」と評価する。						
(8)事前事後学習の内容	プレゼンの準備およびレポート課題を授業時間外で行う必要がある。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	各グループで行うプレゼンに向けて、早い段階から内容について具体的にイメージし、指導案や掲示物作成などの準備をすすめること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	研究室（N411）にて随時。 TEL：026-238-4148						
【教科書】	菅裕 他『新版 中学校・高等学校教員養成課程 音楽科教育法』教育芸術社、2019年。 本多佐保美 他『新版 小学校音楽科教育法』（教育出版）2020年。						
【参考文献】	ICT活用について：https://www.mext.go.jp/content/20201110-mxt_jogai01-000010146_008.pdfほか その他、適宜紹介し、必要に応じて資料を配布する。						